



2022年11月28日

各 位

会 社 名 大阪油化工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 堀田 哲平  
(コード: 4124 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役業務部長 島田 嘉人  
(TEL. 072-861-5322)

(訂正)「2022年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2022年11月10日に公表いたしました「2022年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、一部訂正すべき事項がありましたのでお知らせいたします。

なお、数値データについて訂正はありません。

1. 訂正の理由

「2022年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、公表後に記載事項の一部に誤りがあることが判明しましたので、訂正いたします。

2. 訂正の内容

訂正箇所には下線を付して表示しております。

(訂正箇所①: 添付資料14ページ)

3. 連結財務諸表及び主な注記

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(収益認識関係)

【訂正前】

(収益認識関係)

- ① (省略)  
② (省略)  
③ 当連結会計年度および翌連結会計年度以降の収益の金額を理解するための情報

(1) 顧客との契約から生じた債権および債務の残高等

顧客との契約から生じた債権及び契約負債の残高は以下のとおりです。

	当連結会計年度
顧客との契約から生じた債権 (期首残高)	103,650 千円
顧客との契約から生じた債権 (期末残高)	111,188 千円
契約負債 (期首残高)	3,630 千円
契約負債 (期末残高)	6,996 千円

連結貸借対照表上、顧客との契約から生じた債権は「受取手形及び売掛金、契約資産」に計上しています。契約負債は「流動負債」の「その他」に計上しています。

契約負債は、主にプラント事業セグメントにおいて、一時点で履行義務が充足し、当該時点にて収益を認識する顧客との請負契約について、支払条件に基づき顧客から受け取った前受金に関するものであります。契約負債は、収益の認識に伴い取り崩されます。当連結会計年度に認識された収益の額のうち期首現在の契約負債残高に含まれていた額は3,630千円であります。

- (2) (省略)

【訂正後】

(収益認識関係)

① (現行どおり)

② (現行どおり)

③当連結会計年度および翌連結会計年度以降の収益の金額を理解するための情報

(1) 顧客との契約から生じた債権および債務の残高等

顧客との契約から生じた債権及び契約負債の残高は以下のとおりです。

	当連結会計年度
顧客との契約から生じた債権 (期首残高)	116,213 千円
顧客との契約から生じた債権 (期末残高)	119,310 千円
契約負債 (期首残高)	3,630 千円
契約負債 (期末残高)	6,996 千円

連結貸借対照表上、顧客との契約から生じた債権は「受取手形及び売掛金、契約資産」に計上しています。契約負債は「流動負債」の「その他」に計上しています。

契約負債は、主にプラント事業セグメントにおいて、一時点で履行義務が充足し、当該時点にて収益を認識する顧客との請負契約について、支払条件に基づき顧客から受け取った前受金に関するものであります。契約負債は、収益の認識に伴い取り崩されます。当連結会計年度に認識された収益の額のうち期首現在の契約負債残高に含まれていた額は3,630千円であります。

(2) (現行どおり)

(訂正箇所②) : 添付資料 16 ページ)

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【訂正前】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. (省略)

2. (省略)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び利益の分解情報

前連結会計年度 (自 2020 年 10 月 1 日 至 2021 年 9 月 30 日)

(省略)

当連結会計年度 (自 2021 年 10 月 1 日 至 2022 年 9 月 30 日)

(単位 : 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	894,413	—	894,413	—	894,413
研究開発支援	218,927	—	218,927	—	218,927
プラントサービス	—	66,803	66,803	—	66,803
顧客との契約から生じる収益	1,113,340	66,803	1,180,143	—	1,180,143

外部顧客への売上高	1,113,340	66,803	1,180,143	—	1,180,143
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	62,700	62,700	△62,700	—
計	1,113,340	129,503	1,242,843	△62,700	1,180,143
セグメント利益又は損失(△)	414,908	△42,172	372,736	△235,266	137,470
セグメント資産	1,074,521	133,484	1,208,005	<u>850,524</u>	<u>2,058,530</u>
その他の項目					
減価償却費	129,494	10,261	139,755	1,382	141,138
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	80,443	8,655	89,098	344	89,443

(注) (省略)

【訂正後】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. (現行どおり)
2. (現行どおり)
3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び利益の分解情報

前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(現行どおり)

当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	894,413	—	894,413	—	894,413
研究開発支援	218,927	—	218,927	—	218,927
プラントサービス	—	66,803	66,803	—	66,803
顧客との契約から生じる収益	1,113,340	66,803	1,180,143	—	1,180,143
外部顧客への売上高	1,113,340	66,803	1,180,143	—	1,180,143
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	62,700	62,700	△62,700	—
計	1,113,340	129,503	1,242,843	△62,700	1,180,143
セグメント利益又は損失(△)	414,908	△42,172	372,736	△235,266	137,470
セグメント資産	1,074,521	133,484	1,208,005	<u>850,559</u>	<u>2,058,564</u>
その他の項目					
減価償却費	129,494	10,261	139,755	1,382	141,138
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	80,443	8,655	89,098	344	89,443

(注) (現行どおり)

以上